

目標値設定理由確認シート

大分類コード	7-1-1	大分類名称	「選ばれる都市」を目指した質の高い市政運営
--------	-------	-------	-----------------------

指標名	市政全体に対する市民の満足度
-----	----------------

指標の説明	市政全体について「満足」と思う市民の割合
-------	----------------------

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値	未定	単位	%	備考	平成23年度に意識調査を実施して現状値を取得予定			

目標値設定の根拠

平成23年度に市民満足度調査を実施して、現状値を取得ののち、目標値を設定する。

指標名	船橋市への定住志向
-----	-----------

指標の説明	船橋市に「住み続けたい」と思う市民の割合
-------	----------------------

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
43.8	40.9	35.4	44.6	44.8	44.7	50.8	47.2	
目標値	60	単位	%	備考	過去5年間(平成17年度～21年度)が45～50%前後を推移していることから、努力目標として、10%強の上昇を見込み、60%とした。			

目標値設定の根拠

過去5年間(平成17年度～21年度)が45～50%前後を推移していることから、努力目標として、10%強の上昇を見込み、60%とした。

目標値設定理由確認シート

大分類コード	7-1-2	大分類名称	自律的・効率的で透明性の高い行政運営
---------------	-------	--------------	--------------------

指標名	事業見直しの達成率							
指標の説明	達成率＝見直しを実施した事業数／見直しが必要となった事業数（平成24年度以降の行政評価による）							
現状値（各年度のこれまでの実績）								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値	100	単位	%	備考				
目標値設定の根拠								
<p>事業の見直しには、数年かかるものもあるが、少しずつでも早期に見直しに着手することが重要であり、一部見直しを含め、目標として100%を掲げる。</p>								

指標名	効率的・効果的な行政運営に対する市民の満足度							
指標の説明	効率的かつ効果的な行政運営がなされていると感じる市民の割合							
現状値（各年度のこれまでの実績）								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値	未定	単位	%	備考	平成23年度に意識調査を実施して現状値を取得予定			
目標値設定の根拠								
<p>平成23年度に市民満足度調査を実施して、現状値を取得ののち、目標値を設定する。</p>								

指標名	職員の対応に対する市民の満足度							
指標の説明	窓口等での職員の接遇や対応に「満足」と答えた市民の割合							
現状値（各年度のこれまでの実績）								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値	70(仮)	単位	%	備考	平成23年度に窓口アンケート(意識調査)を実施して現状値を取得予定			
目標値設定の根拠								
<p>窓口アンケート(市民満足度調査)を実施して、現状値を取得ののち、目標値を設定する。目標値を仮に70%と置いたのは、他市の事例(以下)を参考に仮置きしたものを。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵村山市 職員の態度・対応について ⇒ よい以上 82% ・石巻市 職員の挨拶・対応等全体評価 ⇒ 満足以上 67% ・草津市 職員の挨拶・対応等全体評価 ⇒ 満足以上 76% 								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	7-1-3	大分類名称	安定的な行政運営が可能な財政基盤の確立
---------------	-------	--------------	---------------------

指標名	市税収納率
指標の説明	収納率＝収納済額／市税調定額

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
89.16	89.63	90.57	91.67	92.79	94.01	94.28	94.17	53.82
目標値	95	単位	%	備考	22年度は9月末現在			

目標値設定の根拠

歳入の確保という施策に対するの収納率の目標値としては、本来であれば100%とすべきであるが、現実的には、達成は不可能と考えられる。従って、これまでの収納率の推移、実績を元に実現の可能性のある目標として95%に設定した。

目標値設定理由確認シート

大分類コード	7-2-1	大分類名称	広域的な連携の推進
--------	-------	-------	-----------

指標名	関係自治体との連携事業数							
指標の説明	共同設置・運営、事務の共同処理、共同研究、市域を越えたサービス提供等の広域連携事業の件数							

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
目標値	未定	単位	件	備考	平成23年度に庁内調査を実施して現状値を取得予定			

目標値設定の根拠

広域連携事業の考え方を整理の上、庁内調査を実施して、現状値を取得ののち、目標値を設定する。